

# CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

## PROMOTION of ECO-PROJECT, 2008-2009



発行 千歳セントラルロータリークラブ  
会長 井上英幸 / 副会長 今井章夫 / 幹事 武田伸也 / 会報編集責任者 武田伸也  
〒066-8520 北海道千歳市本町4丁目 ホテル日航千歳内 TEL・FAX.0123-26-5788  
オフィシャルホームページ <http://www.ccrcc.jp> E-mail. [office@ccrc.jp](mailto:office@ccrc.jp)

### 会長挨拶

会長 井上 英幸

歴史的な出来事であったが起きたスーパー・チューズデー。見事にオバマ氏が大差の勝利です。黒人大統領の誕生は初めてであり、米国民は新たな歴史のページをめくりました。オバマ氏はコロンビア大学卒業後、シカゴの貧困地区で3年間の地域住民を支援する社会福祉活動に従事。その後ハーバード法科大学院で学び、修了後はシカゴで人権派弁護士として活躍。96年にはイリノイ州議会議員、04年には黒人として史上3番目の上院議員に初当選という若い有力な大統領です。世界のリーダーとして活躍されることを願っております。

11月4日、千歳市より『善行表彰』をいただきました。千歳セントラルロータリークラブ創立5周年時の「朗読奉仕用録音ブース寄贈」、そして15周年時の「駅前ロータリーの友好の桜」、昨年「指宿公園にエゾヤマザクラ植樹」、「JR千歳駅カラーコルトン整備費の寄付」、「地域福祉振興基金」などの過去の功績が認められた結果であるとうれしく思います。18年間、皆様のたゆまぬ活動の成果でありましょう。

ボランティア団体ではソロプチミストさんとわがクラブの受賞でした。

今年度は、千歳市から『J8サミット2008千歳支笏湖への感謝状』、RI2510地区からは『RI会長章』、『会員増進計画表彰』、『地区会員増進優秀賞 第2位』の3つの賞を頂き、そして今回の『善行表彰』を数え、合わせて5つの表彰状を頂くことができました。

創立記念例会には皆さんでお祝いし、表彰状を前にして記念撮影を考えております。

本日はロータリー財団についてです。宜しく願い致します。

### 幹事報告

副幹事 大野 馮

- 千歳市からの善行表彰の授賞式が11月4日行われ、会長が出席しました。
- 新入会員候補の加藤晶啓氏が理事会にて承認されましたので、会員選挙を実施します。
- 次回は創立記念例会です。11名のお客様をお迎えし賑やかに開催します。会場づくりのため出席の確認を、本例会で出席委員会が行います。

### 例会出席状況 (2008年11月11日)

会員数	35名
会員出席者数	23名
欠席者数(内:無断欠席)	12(2)名
出席率(前回例会)	65.71(62.85)%
ゲスト・ビジター出席者数	0名
出席者数総計	23名

### ニコニコBOX

ニコニコ箱 委員長 山本 啓子

佐藤 文雄 会員 風邪をひき、なかなか治らなく困っております。

坂井 治 会員 J8サミット千歳宣言除幕式に参加してきました。

### 本日のプログラム

#### 会員卓話「ロータリー財団について考えよう」

ロータリー財団委員会 委員長 大野 馮

11月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団というと非常に難しく分かりづらく大変な中身だと思っております。何のために寄付を出しているのか、どのような使い道をしているのかをお話させていただきます。

ロータリー財団の使命は健康の改善、教育の支援、貧困の軽減を通して、ロータリアンたちが世界理解、善意と平和を推進できるようにすることといわれております。

ロータリーの国際的な人道的奉仕を動かす、エンジンの役割を担っているということでしょう。

2510地区活動方針として次のことが掲げられています。

- ① 財団へ1人100ドルとクラブ1,000ドルを寄付する。
- ② 恒久基金、使途指定、そして大口寄付、ポールハリス・ソサエティへの協力と推進。
- ③ 各種プログラムへの積極的推進。
- ④ 各小委員会GSE(研究グループ交換)異国文化の体験と職業研究。

寄付金にはどのようなものがあるでしょうか？大きく分け

て年次寄付、恒久基金寄付、ポリオプラス寄付の 3 つになります。

年次寄付は 3 年後に使うもので、3 年定期貯金のようなものと考えてください。

恒久基金寄付は元金を使わず、利息だけを使います。

ポリオ・プラスというのは、必要な時にいつでも使えます。

ドイツ財団の「1 億ドルのチャレンジ補助金」も大きく貢献しています。昨年の 12 月から 3 年間でロータリーが同額を集めるというものです。この金額を世界のクラブ数で割ると 1 クラブ 1,000 ドルという目標額になりますが、ポリオ撲滅そのものに対する関心が低いということと「チャレンジ」というシステムが浸透していないことへの批判もあります。地区でも相応のことをしなければならず「俺の立場はどうなるんだ！」といったガバナーの言葉でした。

ロータリーが組織をあげて行っているポリオ・プラスプログラムということで、皆さんへの協力を呼びかけています。

ロータリーに入っているということは、それはもっと大きな国際ロータリーの一員であるということです。地域のニーズに応えるというのは大変大事なことです。それと同時に世界の中で困っている人に対して何らかの形で貢献するというのも大事なことです。地域社会のためにロータリーのお金を使うのではなく、もっと広い世界に目を向けてほんとうに困っている人たちのために自分たちのお金を使っていく、そのひとつの手段としてロータリー財団のお金を使うことが大事なこともかもしれません。

またロータリー財団の補助金制度が変革され、新地区補助金として大変使いやすくなっているようです。ロータリーがどういふところにお金を使うかという、新しい方向性を出しているということ。地区の良識で運営され、地域社会優先ということでそれに沿わないものはなかなかお金が出にくくなってしまいかもかもしれません。また、研究グループ交換、マッチング・グラント、国際親善奨学金などは名称が変わるようです。

次回の担当例会では、米山記念奨学金についてお話しく思います。

馴染みが薄いといった委員会で、勉強不足のところが多く申し訳ございません。ご静聴ありがとうございました。

## 次回例会の案内

プログラム委員会 委員長 佐々木 俊哉

次回の例会は夜間例会 創立記念例会です。例会前に記念写真撮影を行いますので、18:20 までに例会場に集合願います。

毎回の例会の会報を製作しているものの…、例会時に会報を回覧しているが、どれほどの方に目を通してもらっているのか疑問である。2 年前から今で言う“エコ”という考え、基は経費節減であったのだが、例会時に会員全員に、この会報を配布することを休止してしまったのだ。作っているからには見て欲しい。さて、時代と逆行ではあるが、配布再開もやむを得ないのが実情であろうか。クラブのホームページには、過去から現在に至るまでの会報をファイル化し掲載されています。貴重な資料といえます。